

浅井和夫さんを偲ぶ会 兼 川妻成美さん入団歓迎会

□ 4月20日(日)の定例レッスンの後、興隆園に場所を移して、「浅井和夫さんを偲ぶ会」と、見学に見えた後入団を決められた「川妻成美さんの歓迎会」を行いました。まずは、川妻成美(かわづま しげみ)さんの歓迎の記事から。

川妻さんようこそ!

□ 川妻さんは、一昨年(2012年)6月中之島公会堂で催された「保険医協会50周年企画」に出演した「昴」の歌を聴いて感動され、当HPなどで調べて、去る4月6日の「昴第9回コンサート」も聴きに來られました。その時の団長挨拶の「入団のお誘い」に応じて、「一度見学に」と、今日のレッスンにお見えにな



りました。レッスンの雰囲気など気に入ってもらえて、お住まいは滋賀県高島町でレッスン場までかなりの時間がかかるところを、押して、即座に入団を決めていただきました。良いバスの声をお持ちです。昴の平均年齢を少し若返らせることに貢献して頂けます。大歓迎です。昴で一緒に「若々しい声」で歌いましょう!(「歓迎会の川妻さんのテーブルの写真」、どなたが川妻さんか判りますよね。紳士ぞろいの中でも出色です。)

語り歌って・・・浅井和夫さんを偲ぶ会

□ 「浅井和夫さんを偲ぶ会」では、千秋団長の献杯の音頭に始まり、浅井さんを入団に誘った藤後名誉団長や第一合唱団や職場で親交のあったBrの清水さん、下の名前呼び合う親しい仲だったT2の西村さん、浅井さんがパートリーダーをしていたバスパートの面々をはじめとして、こもごも思い出を語り合いました。



□浅井さんの温厚な人柄が皆に慕われたことや、情感あふれる素晴らしいバスの喉、大阪市職組で大変なご苦労された話、病気がちの奥さん（故人）に優しく尽くされた話、奥さんともども林光のファンで、昂に率先して林光のうたを持ちこんだ功績など多くの思い出が語られました。惜しい人を失いました。残された我々は体に気を付けながら、浅井さんの遺志をついで、昂らしい歌を歌い広めていくことを誓い合いました。



□後半は浅井さんのソロのおはこ「道」を皮切りに、追悼の合唱を献歌しました。「道」と「フィンランディア」だけは歌おうと始まったのですが、森さんにピアノを弾いていただいた（母上にフィンランディアの楽譜を取りにわざわざ往復していただきました。ありがとうございました。）のもあり、次々と、腕を組みながら「人間の歌」を歌い、他に、「白樺」、「死んだ男の残したものは」、賑やかにいこう！と、「歓びのナーダム」、「I've Got Sixpence!」と、興隆園の2階を揺るがせる大合唱を献歌しました。（1階にはほかのお客さんもいたのに興隆園さん、済みませんでした。興隆園の社長さんからも、9thコンサートには従業員も含め全員で聴きにきてくれたこと、日頃の交流も含めて熱い連帯のあいさつを頂き、「偲ぶ会」では酒肴の大サービスを頂きました。ありがとうございました。）

4月18日

新譜を試みました。結果、歌わないことになりました。

□4月18日（金）の定例レッスンは、奥村さんの体操と本並先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで、石若氏編曲の歌謡曲3曲を新譜で試みました。歌の内容や歌手の問題で、昂がステージで歌う持ち歌としてどうかという意見があり、結果歌わないことになりました。参加は全27名でした。

合唱発表会曲をレッスンしました

4月20日

□4月20日（日）の定例レッスンは、佃さんの体操と本並先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで、合発曲の「街を返せ」と「降りつむ」を念入りにレッスンしました。合発では時間の制約もあり、本並先生一人で2曲を指揮します。参加は全28名でした。



「和泉九条の会8周年のつどい」出演

□5月10日（土） 集合 12:30（リハ）
出演 14:00（オープニング出演）

□和泉市コミュニティセンター

□JR阪和線 和泉府中駅 歩10分

□赤シャツ、黒ズボン、九条バッジ

□・天の火 ・降りつむ ・街を返せ ・死んだ男の残したものは
・ゆらゆら春 ・川の流れのように ・（アンコール）歓びのナーダム

□司会 石橋章一



和泉市コミュニティセンター

定例レッスン日変更 7月4日（金） → 7月11日（金） ご注意ください！（紫金草のコンサート前ゲネプロに譲ったため）